

協 定 企 業 名	麒麟ビール株式会社
交 流 行 事 名	麒麟ビール 水と自然とくらしのキャンペーン2014 たっすいがは、いかん！ 山の手入れ体験バスツアー秋
開 催 日 時	平成26年11月3日（月・祝）午前10時00分～午後3時
開 催 場 所	四万十町重木山町有林、四万十緑林公園
主な参加者・人数	一般参加者、麒麟ビールマーケティング(株)、麒麟ビバレッジ(株)、 四万十町、高知県 総勢 83名
交 流 行 事 の 概 要	<p>気持ちのいいお天気の中、一般応募で選ばれた50名の参加者が四万十町で森林整備と食材の豊富な四万十町ならではの食べるお祭り「米・こめフェスタ」で昼食を兼ねた見学をしました。このツアーは“日頃の感謝の気持ちを形にして！”という思いで、毎年春と秋、2回行われ、今回で18回目となります。</p> <p>まず、家地川ダムのそばにある広場で開会式が行われました。司会是高知放送石田アナウンサー。四万十町副町長と麒麟ビールマーケティング高知支社長、そして高知県林業環境政策課課長補佐からそれぞれ開会の挨拶があり、森副町長からは、10月の台風災害であらためて森林整備の重要性を感じたことや新築した四万十庁舎は今日作業を行う協定林のヒノキが使われていることのお話が、また、石田高知支社長からは、ビールづくりには水を大量に使うので、水を使う企業として四万十川の水を育む森を守る活動を今後も積極的に行っていきたいとのお話がありました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>そして、四万十町職員から町内の森林の現状や取り組み内容、山での作業の注意等の説明の後、手入れをする山に入ることになりました。今回は、歩いて20から30分ほどにある協定林で、ヒノキの人工林内にある雑木（下層植物）の除伐作業を行いました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

RKC 高知放送の取材チームも同行しており、子どもたちが一生懸命に除伐している様子をカメラに収めたり、インタビューをしていました。



初めて経験する方や小さい子ども達もいて、最初、恐る恐る伐っていましたが、だんだん慣れてくると、直径が10cm以上ある雑木の伐採にチャレンジする方もいました。終了時間の午前11時を過ぎても、もう1本、もう1本と時間を惜しんで伐っていて、その表情を見ると達成感のある清々しい感じに見えました。20本以上伐っている方もいて、1時間余りの作業で辺りの景色は見違えるように明るくなりました。



作業終了後は恒例の集合写真です。協定林のシンボルとなっている看板を囲み参加者全員で「たっすいがは、いかん！」の掛け声とともにパシャリ♪森の中に元気な掛け声が響きました。

そして、この後、石田高知支店長から参加者全員に修了証書が送られました。



この後、「米・こめフェスタ」の会場（四万十緑林公園）に移動し、昼食とイベントの見学をしました。天気も良く、会場は子どもから年配の方まで多くの方で賑わっていました。

昼食はイセエビや四万十ポークのメンチカツレツなどが入った特別メニュー「シェフこだわりの料理」をいただくことに！



また、会場内にはアユの塩焼きや四万十ポークの串焼きなど、四万十町の豊富な食材を使った様々な料理や雑貨売り場など様々なブースがいっぱいあり、あちらこちらで行列ができていました。その一角にはもちろんキリンビールの販売コーナーも！

ツアーに参加された皆さん、四万十町のおいしい食べ物はいかがでしたか？皆さん一日お疲れ様でした。